



ウィム サクラ

+base代表/社会起業家/心療内科看護師/認定心理士
日本生まれのスリランカ人。「日本の優れた医療を世界に」という思いで急性期看護師になるが、自身の体験を通し、医療業界の「命を守る人々の”心を守る仕組み”」の課題に直面。現在ナース向けメンタルサポート『+Nurse』を開発中。
この基金を通し、女性が9割を占める看護業界に一石を投じることで、たくさんの女性の心を守り、挑戦しやすい社会を実現したい。



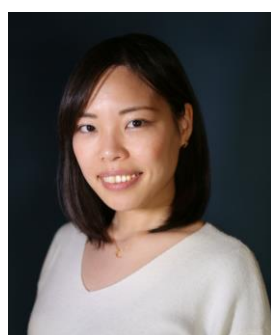
斎藤 明日美

一般社団法人Waffle共同創業者。IT業界のジェンダーギャップを解消すべく、女子中高生向けのプログラミング事業を展開。2020年Forbes JAPAN誌「世界を変える30歳未満30人」受賞。日本ロレアル「女性のエンパワーメント・アドバイザリー・ボード」設立メンバー。
本基金の採択誠に感謝しております。これからの担う女子にITという選択肢を届けるべく尽力いたします。



能條 桃子

1998年生まれ。20代の投票率が80%を超えるデンマークに留学したことをきっかけに若い世代の政治参加を促進する団体NO YOUTH NO JAPANを立ち上げ、代表を務める。また、ジェンダーと気候変動に関心を持ちアクティビズムに取り組んでいる。基金を通じ、若者・女性の声が政治に反映されるための仕組みづくりを学び実践する予定。慶應義塾大学経済学研究科修士1年、ハフポスト日本版U30社外編集委員。



濱田 真里

お茶の水女子大学大学院にて女性議員に対するオンライン・ハラスメント研究を行い、卒業後、2021年5月に研究内容を活かして女性議員・候補者のサポート団体 Stand by Womenを設立。お茶の水女子大学ジェンダー研究所東アジアにおける政治とジェンダー研究チーム共同研究者。
この基金を通じて、議員に対するハラスメントの調査研究や、議員へのサポート、研修の提供、問題の啓蒙活動などを実施予定。



吉岡 マコ

NPO法人シングルマザーズシスターフッド代表理事
パンデミックをきっかけにオンラインのセルフケア講座をシングルマザー向けに開発。シングルマザーの心身のセルフケアとエンパワメントが起きるプラットフォーム作りに奮闘中。基金の支援を受け、担い手の育成にも注力していく。大学で学んだ身体論や運動生理学、学外で学んださまざまなエンパワメントの手法を活かし、1998年より産前・産後の支援活動（NPO法人マドレボニータ）を22年続け、2020年に次世代に事業承継した。